

粕谷和夫の観察日記。12月2日勝沼のブドウ園内のフットパスを歩いてランチは今まで数回行ったことのある農家レストラン。築150年の古民家であるご自宅の掘りごたつで食べさせていただきました。その時の内容は写真の通り。これで3人前。地元野菜などの家庭料理。自家栽培の野菜がたっぷり。今年の新酒ワインが格別に美味しかったです。

紅葉台



新聞

第164号
2025年
1月10日
発行人：関谷 孝

グリーンヒル寺田 ♥ 憩いの場

11月19日地域で活躍している辻井さん、細野さんと一緒に「グリーンヒル寺田」に見学に行きました。この日は紅葉が真っ盛り。たくさんの木々に囲まれたグリーンヒル寺田は、八王子の中でも自然豊かな場所です。ここはUR住宅が立ち並び今は高齢者がたくさん住んでいます。（どこでも同じですが）かつてにぎわった商店街は寂れ、ほとんどがシャッター街になっています。めじろ台の「安心ねっとふれあいサロン」と同じように、寺田町も商店街の空き家を利用して「高齢者のためのサロン」が誕生しています。行き方は、駐車場がたくさんあるので車で行くことができます。というよりここは車の方が便利ですが高尾駅からもグリーンヒル寺田行のバスが出ています。

まず目についたのは、商店街の中の大きなスーパーです。改装され、新たな食品売り場とコインランドリー・リモートワークのできる小部屋・人々が休める休憩場所がありました。



「コミュニティーサロンらくださん家」

かつて商店街の一角で介護施設だった場所を改装し、3年前にNPO法人らくだの夢グループが地域の人たちのための支援活動を立ち上げました。

この日も、将棋や手提げ袋づくりをする人達がいきました。スタッフがつきっきりで丁寧に教えていました。活動内容は、①コミュニティーサロン。ここでは体操・囲碁・将棋・手芸などの趣味の講座。②子育て支援活動。子育て相談・学習支援・フードパントリー等③グレープシードと称して日常の困りごとを有償でお手伝い。例えば、通院の付き添い・買い物や衣替えの手伝い・お喋りの相手・本の読み聞かせ等様々な要望に寄り添います。



また、「おひさまカフェ」もかつて蕎麦屋だった所をURと交渉し、カフェに改装し、みんなの居場所に提供しています。コーヒー一杯200円。いつでも好きな時に何時間でもいることが出来ます。曜日によって健康体操・お絵描き・工作・健康講座等開催しています。地域の人がボランティアで運営しています。経費はURで出してくれますが、そのための報告書を年に何回も提出するのが大変と話していました。この日は何人かのグループがテーブルを囲んで楽しくおしゃべりしていました。手作り品もたくさんあり売り上げは運営費に充てています。他にも住民の方たちの寄付等で活動を金銭面でも支えています。高齢者が増えてくる現在このような人と人が集い合いコミュニケーションできる場=憩いの場



がますます必要になってくると思います。

憩いの場の活動を支えるのには**場所と人が必要条件**と言います。寺田もめじろ台も同じように商店街の空き部屋を利用し、それを支える人たちがいて成り立っているのが良く分かります。このように地域を支える人たちの思いがあってできるのだと改めて認識しました。高齢者には待たなしです。私も同じような活動をしていきたいと思っているのでとても参考になりました。

帰りがけに2年前ここに新しくできた噂のお店「Deli Bon Courage」に行きました。本格的なフランス料理を修業したシェフ自慢の料理が食べられます。オーナーの住まいは、めじ



ろ台ですが、この場所が気に入ってご夫婦でお店をしています。料理はどれも手作りで美味しく本格的なフランス料理を安く食べられるのは嬉しいですね。写真を見てもそのおいしさが伝わるのでしょうか。



グリーンヒル寺田は高齢者にとっても住みやすい街。こんな憩いの場があるのが本当に羨ましい限り。皆さんも是非行って見て食べてみてください！！

粕谷和夫の観察日記



ノスリの幼鳥です。八王子・北浅川の河原、上空にタカが現れたので、ノスリかと思ったがトビでした。その後で川原の中の林に目を向けるとノスリが枝に止まっていました。未だ若々しい幼鳥でリラックスしていました。

北浅川(八王子)の堤防を散策しているとタシギに出会いました。ラッキーでした。長いクチバシが特徴でその影が胸に移っています。この鳥に出会えて気分をよくしてさらに前に進むととっても珍しいクイナにも出会いましたが、すぐに草株に身を隠してしまい写真を撮ることが出来ませんでした。



八王子北浅川の河原です。水辺のガマの穂が綿毛になり、そこに光線が射して光り輝いていました。毛皮をはぎ取られた因幡の兎が大国主命に「ガマの穂を塗ると良い」と言われましたが、ガマの花粉は漢方薬として、止血剤に使われているので、昔話とはいえ的を射ているらしいです。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。